＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
国際理解促進事業

1 事業概要

【目的】
海外と姉妹都市提携を行い、様々な活動や行事に参加することを通して、その交流を深めることにより、市民の国際理解、国際感覚の醸成を図ります。

【内容】
令和５年に熊谷市とニュージーランド・インバーカーギル市は姉妹都市提携３０周年を迎えました。このことを記念し、熊谷市国際交流協会と連携して、市民訪問団を同市に派遣します。

【影響・効果】
インバーカーギル市とは、中高生を同市へ派遣するホームステイプログラムのほか、本市にある県立高校や大学と同市にある学校が姉妹校提携を結び、相互に学生を派遣するなどの教育交流が行われています。また、両市による市民親善訪問団等の派遣・受入れなど、市民による交流なども行われています。
さらに、令和６年１月からは同市の若者が１名、本市でワーキングホリデーの制度を利用した就労を開始しています。

2 特徴やPRポイント

【特徴】
市民親善訪問団の派遣はおおむね５年ごとに行われており、前回は平成３０年に派遣しています。

【ＰＲポイント】
姉妹都市提携の記念調印はそれぞれの都市で行っており、令和５年１月には本市が市長訪問団をインバーカーギル市に派遣し、同年７月には同市の市長訪問団が本市に派遣されるなど、親密な関係が続いています。

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　市長公室広報広聴課　　担当　津留
連絡先　℡048－524－1111　　内線　205

＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
コミュニティポイント普及促進事業



1 事業概要

【目的】
市民活動、地域活動及びボランティア活動等のコミュニティ活動への参加を促進し、地域コミュニティの活性化や地域のにぎわいの創出につなげます。

【内容】
令和６年３月２９日からコミュニティポイント事業を開始します。名称は「クマポ」です。運用開始年のため、［クマポ」に親しんでいただくきっかけとなるよう、ためた「クマポ」を使うことができる記念品や体験、サービスの充実を図ります。
「クマポ」には大きく３つの場面があります。
一つ目「ためる」です。清掃活動やボランティア活動等、「まちを元気にする」活動に参加することで「クマポ」をためます。
二つ目「つかう」です。ためた「クマポ」で、市内の協力団体が提供するサービスや記念品と交換するなどで「クマポ」を使います。
三つ目「わたす」は、利用者間で「クマポ」をやりとりできる機能です。「感謝の気持ち」として「クマポ」を利用者間でやりとりすることが可能です。

【経緯】
令和５年７月のスマートシティ宣言に基づき、持続性のあるまちづくりのため、コミュニティポイント事業を実施します。コミュニティポイント「クマポ」は、熊谷市公式LINEアカウント内「クマぶら」を入口（ポータル）とします。

【効果】
ポイントの循環で人のつながりをつくり、共助やコミュニティ活動の活性化を図ります。

2 特徴やPRポイント

「クマポ」は換金性がありません。「クマポ」は市内で様々な活動をする方の間で循環するポイントです。「クマポ」は、「クマＰＡＹ」と同じように二次元コードを読み取ったり、見せたりすることで受け渡しが行えます。

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　市民部市民活動推進課　　担当　遠藤
連絡先　℡　048-524-1111　　内線　330

＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
地域会館整備事業

1 事業概要

【目的】
地域の生涯学習・コミュニティ活動等の拠点となるべき施設として、地域会館を新たに整備します。

【内容】
令和２年度現在の小学校区ごとに、長期的に計３０施設を整備します。令和６年度は、その第一弾として、三尻、佐谷田、大幡、大麻生の４地域（校区）において、整備用地の測量・地質調査の上、建物の設計を行います。各地域において地元説明会を開催し、地域の意見を聞きながら進めていきます。

【経緯】
本市では、長期的な施設マネジメントの一環として、７か所の生涯活動センターと３０か所の地域会館の整備を計画しています。本事業は、そのうちの地域会館の整備に関するものです。

【効果】
老朽化した地域公民館等に代わり、地域の生涯学習、コミュニティ活動等の拠点が引き続き確保されます。老朽化し、耐震性にも課題のある地域公民館等の更新（建替え）としての側面もあります。

2 特徴やPRポイント

より大規模な施設である生涯活動センターとの役割分担を想定し、地域会館自体は小規模な施設（木造平屋建て）とする予定です。ただし、交流スペースの設置、電子錠の導入や高断熱仕様の採用による維持管理コストの低減、ユニバーサル仕様による設計（ユニバーサルシートの設置等）などについて検討しています。子供を含め地域の誰もが使いやすい、従来の公民館以上に親しまれる施設とすることを目指しています。
住民意見の採り入れ方については、事業の初期段階でパブリックコメント（意見公募手続）を行い、地域会館の基本的仕様について市民全体の意見を聞きます。その後、整備予定の各地域（校区）の意見を聞き、可能な範囲内で、基本的仕様をそれぞれカスタマイズ（仕様変更）することを想定しています。

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　教育委員会中央公民館　　担当　島﨑
連絡先　℡　048-523-0895　　内線　ー